

実習等における作業効率改善の「学生提案」について校長表彰を実施

学生が本校を巣立ち、就農や就職をした後、常に作業や業務上の課題の把握とその改善に取り組む姿勢を身につけるため、本校農場実習における作業効率の改善に向けた学生提案を募集したところ、54名の学生から、87件の提案がありました。

提案の内容は、農場実習や農場当番の効率化に繋がるもの、また、効果的な学習に繋がるものなど優れた提案が数多くあり、その中から最優秀賞1名、優秀賞2名が選出され、校長表彰を受けました（表彰式は10月29日秋の校内スポーツ大会の表彰と併せて実施）。

最優秀賞の提案は、畜産の農場当番の学生が、牛の個体に合ったきめ細やかな飼養管理が可能となるよう、個体ごとの管理状況等重要事項の連絡方法や引き継ぎがスムーズとなるような学生当番のシフト体制について提案してくれたものです（畜産経営学科2年 田澤美里さん）。

また、優秀賞は、作業機械の故障防止や作業効率改善に向けた農作業機械の点検実施に関する提案（農業経営学科2年 手塚修平くん）、乳牛の搾乳作業の効率化に向けた搾乳牛管理の工夫に関する提案（畜産経営学科1年 細谷絵梨佳さん）でした。

受賞した提案のほかにも、優れた提案がたくさんあり、各学科で実施に向け検証し、可能なものから農場実習に取り入れる予定です。



最優秀賞の校長表彰